

かわせみ

2023
第97号
(2月15日発行)



春の訪れとともに、公園内ではさまざまな生物が活動を始めます。^{ろうばい} 蠟梅は早々と1月末に花が咲き始め、その他にもさまざまな植物が芽生えてきます。公園で冬を越した冬鳥たちも、そろそろ旅立ちをする頃となりました。ぜひ丸山公園に来て、季節の変化を肌で感じてみてください。



上尾市自然学習館

〒362-0065

上尾市大字畔吉178

TEL 048-780-1030



4月



生き物教室 カブトムシの幼虫を育てよう

カブト虫の生態を学び、幼虫を探しに行きます

- ◆日時：① 4月1日(土) 9時30分~11時30分 (雨天実施)
- ② 4月2日(日) 同上

申し込めるのはどちらか1日のみ

- ◆定員：各8人
- ※小学生以下は保護者同伴

- ◆参加費：500円
- ◆持ち物：飼育ケース・大(10ℓくらい)
- ◆服装：活動しやすい服装、雨天の場合は雨具
- ◆申込み：3月1日(水)から(市外の方 翌日から)



タケの不思議を発見しよう

タケの種類や、タケノコのつきかたなどを観察します

- ◆日時：① 4月 8日(土) 9時30分~11時30分 (雨天実施)
- ② 4月16日(日) 同上

申し込めるのはどちらか1日のみ

- ◆定員：各8人
- ※小学生以下は保護者同伴

- ◆参加費：500円
- ◆持ち物：ビニールの袋(20ℓくらい)、軍手、新聞紙
- ◆服装：汚れても良い服装
- ◆申込み：3月1日(水)から(市外の方 翌日から)



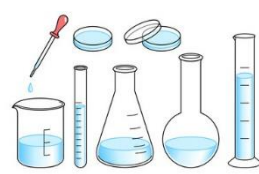
カルシウムって何色？

単体のカルシウムを観察し、**白色だと思っていませんか？**

実験を通してカルシウムの性質を調べます

- ◆日時：4月22日(土) 10時~11時30分 (雨天実施)
- ◆定員：8人 ※小学4年生以上の一般向け(小学生は保護者同伴)

- ◆参加費：200円
- ◆持ち物：筆記用具
- ◆服装：汚れても良い服装
- ◆申込み：3月1日(水)から(市外の方 翌日から)



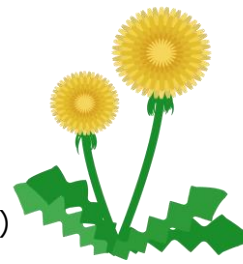
5月



昆虫や草花に親しもう

草原で昆虫や草花を採集し観察します

- ◆日時：5月7日(日) 9時30分~12時(小雨実施)
- ◆定員：8人 ※小学生以下は保護者同伴
- ◆参加費：無料
- ◆持ち物：虫かご、虫取り網(持っている人)
- ◆服装：野外で活動するのに適した服(長袖、長ズボン)
- ◆申込み：4月1日(土)から(市外の方 翌日から)



爽やかな色の変化を楽しむ草木染

「藍の乾燥葉」で色鮮やかにスカーフを染めます

- ◆日時：5月19日(金) 9時30分~12時
- ◆定員：8人
- ◆参加費：2,000円
- ◆持ち物：エプロン、使用済みタオル、厚手のゴム手袋
- ◆服装：汚れてもよい服装
- ◆申込み：4月1日(土)から(市外の方 翌日から)



プランクトンを顕微鏡で観察しよう

丸山公園の池に住むプランクトンを採集して、顕微鏡で観察します

- ◆日時：5月20(土) 9時30分~12時(雨天実施)
- ◆定員：6人
- ※小学生以下は保護者同伴
- ◆参加費：無料
- ◆服装：野外で活動するのに適した服装(長袖、長ズボン)
- ◆申込み：4月1日(土)から(市外の方 翌日から)



6月



竹灯籠を作ろう

学習館の竹林の竹で灯籠を作ります

- ◆日時：6月3日(土) 9時30分~12時
- ◆定員：8人

※中学生以上で電動ドリルが使える方

- ◆服装：汚れてもよい服装
- ◆持ち物：軍手または皮手袋、雑巾または汚れてもいいタオル
- ◆参加費：500円
- ◆申込み：5月1日(月)から(市外の方 翌日から)



イメージ

レジンで昆虫標本作り

昆虫を採って観察し、展翅してからレジン標本にします

- ◆日時：6月10日(土) 11日(日) 9月9日(土) 10日(日)
- 4回で1講座 9時30分~12時(全出席できる方)

- ◆定員：8人
- ※小学生以上で保護者同伴

- ◆持ち物：虫かご、虫取り網(持っている人)
- ◆服装：野外で活動するのに適した服
- ◆参加費：1000円(レジン150ccまで)
- ◆申込み：5月1日(月)から(市外の方 翌日から)



苔玉を作ろう

山野草と観葉植物の苔玉作り

- ◆日時：6月12日(月) 10時00分~11時30分

- ◆定員：10人
- ◆参加費：2,000円
- ◆持ち物：エプロン、花用ハサミ、薄手のビニールの手袋、持ち帰り用のレジ袋
- ◆申込み：5月1日(月)から(市外の方 翌日から)



各教室の申込みについて

- ◎受付初日市内在住の方：9時~17時 2日目から市外の方
- ◎教室申込：電話で申し込んでください。(電話：048-780-1030)
- ◎有料の教室：参加費は教室当日ご持参ください。(欠席の場合、キャンセル料を頂く場合有)
- ◎雨天中止と記載されていない教室は、すべて雨天でも実施します。

自然観察会

- 自然学習館では、自然学習館周辺で自然観察を行っています。四季おりおりの自然を身近に感じられる楽しいひとときを、自然学習指導員と一緒に過ごしてみませんか。子供から大人までどなたでも参加できます。
- ◎開催日：毎週土曜日・日曜日 ※雨天実施(自然学習教室の開催日を除く)
- ◎時間：午前は10時30分から。午後は1時30分から。所要時間は約1時間。
- ◎受付：当日、自然学習館の受付にて。午前は10時から。午後は1時から。
- ◎参加費：無料

グリーンアドベンチャー

丸山公園内に約30分間で1周できるグリーンアドベンチャーコースがあります。コースを巡りながら名札の付いている木について学んだり、番号札の付いている木の名前を答えるという、自分が主体となって木を学習する仕組みです。いつでも体験できますので、どんどんチャレンジしてください。自然学習館の受付で午前9時から午後4時まで受け付けています。

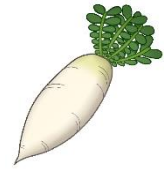


フラワーアドベンチャー

自然学習館周辺の、四季折々の花の名前と花言葉を探すアドベンチャーです。令和3年6月からスタートしました。自然学習館の受付で午前9時から午後4時まで受け付けています。いつでも体験できますのでぜひチャレンジしてください。



豆 知 識

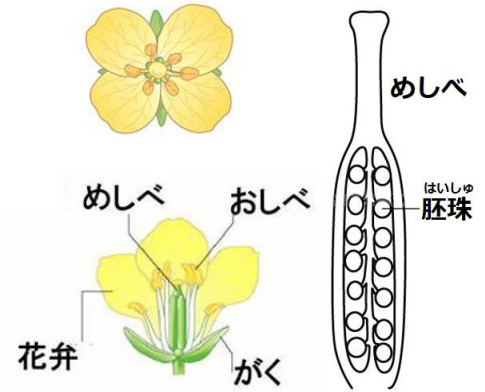


『菜の花（アブラナ）』

「♪ ^{はなばたけ} 菜の花畑に ^{ひうす} 入り日薄れ ^み 見わたす山の端 ^{やま} かし ^は かすみ深し〜」唱歌おぼろ月夜の冒頭の歌詞です。このように、^な 菜の花は ^{むかし} 昔から ^{はる} 春を迎える花の一つとして有名です。^な 菜の花は、^{しよくぶつめい} 植物名としては ^{あぶらな} アブラナという名があり、その仲間を ^{あぶらな} アブラナ科といいます。なんと ^{やさい} 野菜の ^{だいこん} 大根や ^{きゃべつ} キャベツも ^{あぶらな} アブラナ科です。私 ^{わたし} たちの ^み 身の ^{まわ} 回りには ^{あぶらな} たくさんの ^{あぶらな} アブラナの仲間がいます。

1 花のつくり

アブラナの花を上から見ると、^{うえ} 花卉（^{かべん} 花びら）が ^{はな} 4枚 ^{じゆうじ} 十字型 ^{そとがわ} についているのがわかります。花のつくりは、^{かべん} 外側から、^{がく} 花弁、^{おしべ} おしべ、^{めしべ} めしべの ^{じゆん} 順 ^{じゆんじよ} になっています。この ^{おほ} 順序 ^{きようつう} は ^か 多くの花に ^か 共通 ^{きようつう} しています。また、それぞれの数は、^{がく} 花弁は ^{おしべ} 4、^{おしべ} おしべは ^{めしべ} 6、^{めしべ} めしべは ^{あぶらな} 1で、^{あぶらな} アブラナ科に ^{とくちよう} 共通 ^き の ^し 特徴 ^{はいしゆ} です。めしべを ^{ちい} たて ^{つぶ} に ^{なら} 切ると、^{じゆん} 下の ^{あぶらな} ふくらんだ ^{あぶらな} ところ ^{あぶらな} に ^{あぶらな} 胚珠 ^{あぶらな} という ^{あぶらな} 小さな ^{あぶらな} 粒 ^{あぶらな} が ^{あぶらな} たくさん ^{あぶらな} 並 ^{あぶらな} んで ^{あぶらな} います。受粉（^{おしべ} おしべ ^{かふん} 花粉 ^{あぶらな} が ^{あぶらな} めしべ ^{あぶらな} につく ^{あぶらな} こと）すると、^{あぶらな} やがて ^{あぶらな} この ^{あぶらな} 小さな ^{あぶらな} 粒 ^{あぶらな} の ^{あぶらな} 胚珠 ^{あぶらな} は ^{あぶらな} 種子 ^{あぶらな} （種） ^{あぶらな} になります。



2 アブラナの仲間

^{あぶらな} 野菜には ^{あぶらな} アブラナ科 ^{あぶらな} の ^{あぶらな} ものが ^{あぶらな} たくさん ^{あぶらな} あります。大根やキャベツ以外に、小松菜、ブロッコリー、白菜、チンゲンサイ、カリフラワー、ケール、カラシナ、カブ、ルッコラ、ワサビ、クレソン、ミズナ、ラディッシュ ^{あぶらな} 等 ^{あぶらな} が ^{あぶらな} あげ ^{あぶらな} られます。野菜以外でも、ナズナ（ペンペン草）、ハボタン、ハマダイコン、イヌガラシ、オオアラセイトウ（ハナダイコン） ^{あぶらな} 等 ^{あぶらな} があります。アブラナとカラシナは ^{あぶらな} 両方 ^{あぶらな} とも ^{あぶらな} 黄色 ^{あぶらな} い ^{あぶらな} 花 ^{あぶらな} 弁 ^{あぶらな} で ^{あぶらな} よく ^{あぶらな} 似 ^{あぶらな} て ^{あぶらな} いて ^{あぶらな} 区 ^{あぶらな} 別 ^{あぶらな} が ^{あぶらな} 難 ^{あぶらな} しい ^{あぶらな} です。見 ^{あぶらな} 分 ^{あぶらな} け ^{あぶらな} 方 ^{あぶらな} は、^{あぶらな} 葉 ^{あぶらな} が ^{あぶらな} 茎 ^{あぶらな} を ^{あぶらな} 巻 ^{あぶらな} き ^{あぶらな} 込 ^{あぶらな} む ^{あぶらな} よう ^{あぶらな} に ^{あぶらな} つ ^{あぶらな} いて ^{あぶらな} り ^{あぶらな} ます ^{あぶらな} の ^{あぶらな} が ^{あぶらな} ア ^{あぶらな} ブ ^{あぶらな} ラ ^{あぶらな} ナ ^{あぶらな} で、^{あぶらな} 葉 ^{あぶらな} が ^{あぶらな} 細 ^{あぶらな} 長 ^{あぶらな} く ^{あぶらな} ギ ^{あぶらな} ザ ^{あぶらな} ギ ^{あぶらな} ざ ^{あぶらな} して ^{あぶらな} いて、^{あぶらな} 葉 ^{あぶらな} が ^{あぶらな} 茎 ^{あぶらな} から ^{あぶらな} 離 ^{あぶらな} れ ^{あぶらな} て ^{あぶらな} り ^{あぶらな} ます ^{あぶらな} の ^{あぶらな} が ^{あぶらな} カ ^{あぶらな} ラ ^{あぶらな} シ ^{あぶらな} ナ ^{あぶらな} です。



アブラナ カラシナ

3 アブラナの利用

みなさんは、菜の花のことをなぜアブラナというか知っていますか？実はその名の通り ^{あぶら} 油 ^{あぶら} に ^{あぶら} 関 ^{あぶら} 係 ^{あぶら} があります。アブラナの種を絞ると油が取れるのです。菜種油 ^{あぶら} とい ^{あぶら} います。日本では、電 ^{あぶら} 気 ^{あぶら} が ^{あぶら} 普 ^{あぶら} 及 ^{あぶら} す ^{あぶら} る ^{あぶら} 前 ^{あぶら} ま ^{あぶら} で ^{あぶら} は ^{あぶら} ろ ^{あぶら} う ^{あぶら} そ ^{あぶら} く ^{あぶら} や ^{あぶら} 油 ^{あぶら} を ^{あぶら} 燃 ^{あぶら} や ^{あぶら} して ^{あぶら} 明 ^{あぶら} か ^{あぶら} り ^{あぶら} を ^{あぶら} と ^{あぶら} っ ^{あぶら} て ^{あぶら} お ^{あぶら} り、^{あぶら} 菜 ^{あぶら} 種 ^{あぶら} 油 ^{あぶら} は ^{あぶら} 時 ^{あぶら} 代 ^{あぶら} 劇 ^{あぶら} に ^{あぶら} よ ^{あぶら} く ^{あぶら} 出 ^{あぶら} て ^{あぶら} く ^{あぶら} る ^{あぶら} 行 ^{あぶら} 灯 ^{あぶら} に ^{あぶら} 使 ^{あぶら} 用 ^{あぶら} して ^{あぶら} い ^{あぶら} ま ^{あぶら} した。現 ^{あぶら} 在 ^{あぶら} で ^{あぶら} は ^{あぶら} て ^{あぶら} ん ^{あぶら} ふ ^{あぶら} ら ^{あぶら} な ^{あぶら} ど ^{あぶら} を ^{あぶら} 揚 ^{あぶら} げ ^{あぶら} る ^{あぶら} 食 ^{あぶら} 用 ^{あぶら} 油 ^{あぶら} と ^{あぶら} して ^{あぶら} 利 ^{あぶら} 用 ^{あぶら} して ^{あぶら} い ^{あぶら} ます。ア ^{あぶら} ブ ^{あぶら} ラ ^{あぶら} ナ ^{あぶら} 以 ^{あぶら} 外 ^{あぶら} に ^{あぶら} も ^{あぶら} い ^{あぶら} ろ ^{あぶら} ろ ^{あぶら} う ^{あぶら} な ^{あぶら} 植 ^{あぶら} 物 ^{あぶら} の ^{あぶら} 種 ^{あぶら} から ^{あぶら} 油 ^{あぶら} が ^{あぶら} 取 ^{あぶら} れ ^{あぶら} ます。ご ^{あぶら} ま ^{あぶら} 油 ^{あぶら} や ^{あぶら} 大 ^{あぶら} 豆 ^{あぶら} 油 ^{あぶら}、^{あぶら} 米 ^{あぶら} 油 ^{あぶら}、^{あぶら} 椿 ^{あぶら} 油 ^{あぶら}、^{あぶら} オ ^{あぶら} リ ^{あぶら} ー ^{あぶら} ブ ^{あぶら} オ ^{あぶら} イ ^{あぶら} ル ^{あぶら} 等 ^{あぶら} は ^{あぶら} お ^{あぶら} な ^{あぶら} じ ^{あぶら} み ^{あぶら} です ^{あぶら} ね。

アブラナ科の植物の細胞には特殊なものがあり、細胞が傷つくと酵素の働きで、からしやワサビ、大根おろしなどに特有のツンとした辛味の成分を出すものがあります。これは昆虫などの草食動物から食べられるのを防ぐ働きがあります。もちろん、その辛みを私たちは利用しています。また、アブラナ科の野菜にはがん予防効果があるといわれています。特にブロッコリーの効能は有名ですね。アブラナ科の野菜を食べて、元気に生活したいものです。